

令和 5 年 4 月 26 日

## お知らせ

和洋女子大学家政学部健康栄養学科鈴木敏和研究室では、「補酵素 Q10 (CoQ10) 血中レベルに及ぼす機能性食品の検討および遺伝子一塩基多型(SNP)の関連 (承認番号 1513)」という題目で、2016 (平成 28) 年度および 2017 (平成 29) 年度健康栄養学類卒業生を対象に介入型ヒト臨床研究を実施し、鈴木研究室卒業論文研究として発表してきました<sup>1-2)</sup>。今回、先の研究に協力していただいたの研究データ情報を再活用し、下記課題の研究 (学術論文の作成) を実施いたします。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、上記研究の測定結果を本研究に利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

### 【研究課題名】

**補酵素 Q10(CoQ10)血中レベルに及ぼす食事および CoQ10 強化食品の影響**

### 【研究体制・研究データ情報利用者】

研究実施責任者 和洋女子大学

鈴木 敏和

### 【研究における情報利用の目的】

2016 および 2017 年度卒業論文研究で取得した研究情報を合わせ、学術論文として発表するために使用します。地球人口 90 億人時代において、動物性たんぱく質食品の不足が懸念されますが、その際に不足する一栄養素としての CoQ10 に注目を促すことが、論文発表成果として期待されます。

### 【研究の方法】

(対象となる方) 2016 (平成 28) 年度および 2017 (平成 29) 年度和洋女子大学家政学群健康栄養学類卒業生のうち、「補酵素 Q10 (CoQ10) 血中レベルに及ぼす機能性食品の検討および遺伝子一塩基多型(SNP)の関連」に参加された方 22 名

(研究に利用する情報) 2015 (平成 27) 年 10 月から 2017 (平成 29) 年 1 月にかけて行われた研究で得られた上記の 22 名の方の体組成データ、食事記録データ、および血液生化学測定データの情報

### 【個人情報の取扱い、研究成果の公表】

対象となる方のデータは、匿名化されます。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究成果は学術雑誌で発表を予定していますが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

#### 【利益・不利益】

本研究に参加して頂いた場合の利益・不利益はありません。参加を辞退された場合でも同様です。

#### 【研究倫理】

本研究は、「和洋女子大学人を対象とする研究倫理委員会（受付番号 2275 号）」より承認が得られております。

#### 【詳しい内容を知りたい方・本研究に測定結果等を利用してほしくない場合】

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の対象となる方の個人情報の保護、および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

また、本研究にご協力いただけない場合には、令和 5 年 6 月 30 日までにお知らせください。それ以降は本研究に同意されたものとみなしますこと、ご了承ください。

#### 【お問い合わせ先】

和洋女子大学 家政学部 健康栄養学科 教授 鈴木 敏和

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1

Tel : 043-371-1547 (直通)

E-mail : t-suzuki@wayo.ac.jp

ウェブページ : <https://wayonutrsuzukilab.wixsite.com/biochem>

#### 【文献】

1. 血清コエンザイム Q10 値に及ぼす食事の影響 (平成 28 年度卒業論文 指導教員: 鈴木敏和)
2. 食事による血清 CoQ10 レベルの変化 (平成 29 年度卒業論文 指導教員: 鈴木敏和)